

代表者名：会長 小野 正一
 所在地：岩手県一関市
 認証：ASIAGAP（平成30年）

面積：135ha
 構成員：9名
 栽培品目：水稻

取組の紹介

【生産工程管理の改善の取組】

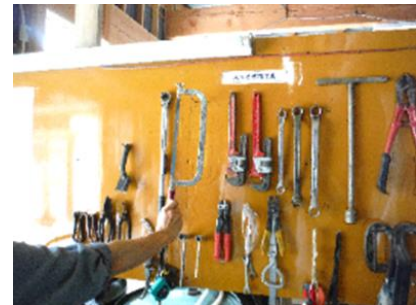
- 会長が個人でJGAP認証を取得していたため、自らの経験をもとに部会員への指導的役割を担った。
- 労働安全の取組を特に重視し、各農場の危険な箇所・作業の見える化を図り、緊急時の対応手順をマニュアル化した。また、各自の行った改善や工夫について、互いに情報共有を行っている。
- GAPの取組をきっかけに、環境に対する配慮の意識が高まり、特に、燃料や廃棄物の保管管理が重点的に見直された。



小野会長(右)を講師とした集合研修

【生産効率性の向上の取組と効果】

- 各農場のリスク低減を目的に作業環境の改善を図り、効率的な作業動線を確認。資材の整理整頓や保管管理が習慣化された。



使いやすさを意識した道具の保管

【経営の改善の取組と効果】

- GAPの取組を通じて、農業者間の交流や意見交換が活発化し、栽培技術の向上・平準化が図られた。
- GAP認証の取得を実需者等に広くPRすることで、産地への信頼が高まっており、将来的には輸出も含めた販路拡大を目指している。



他産地からの視察への対応

【地域の内外への波及効果】

- 他産地からの視察の受入れや研修講師の依頼に積極的に対応することで、地域内外のGAPの普及に大きく貢献するとともに、自らの取組の継続・レベルアップや産地のPRにもつながっている。

HP・SNS等

JAいわて平泉HP：<https://ja-iwatehiraizumi.or.jp/>